

日本の遭難の多くはその日だけ大荒れし前後は快晴と言う事がよく有ります。異常気象のせいツアーはそんな突発的な天候に遭遇してしまった様でした。しかし、こんな天候の中を気落ちせず自然の驚異と戦いながら夏では経験できない冬山風登山を楽しんで来ました。所で一昨年このツアーに参加されたHYさんがクールマイユール～シャモニ間の山岳マラソン(CCC)に参加され、雪の降る最悪のコンディションにも関わらず60歳以上の部で見事入賞されました。おめでとう御座います！



(フェレの科尔 9/2日)

○エレナ～アルペッタ

昨夕から天候は回復し始めたものの頭から離れぬ一抹の不安。通過するフェレの科尔は標高 2500m、下から見れば真っ白、科尔手前は片斜面。危険を冒さずアオスタ・バス経由も考えながら出発も、案の定科尔手前は積雪 150cm程。夏山装備で滑ればエレナ小屋まで一直線の危ない箇所を慎重に通過。私としては冬山登山以上の緊張感でフェレの科尔へ。一昨年もそうでしたが科尔を越え、スイス側の標高 2200m 辺りまで下ると雪は無くまったくの夏に激変。あまりの違いに驚嘆でした。



(フェレの科尔前方 9/2日)



(フェレの科尔下方 9/2日)





○アルペッタ～トリアン

コースも後半、晴天のもとフォルクラ峠に向け標高 2000m 辺りの稜線を巻き込むようにハイキング。道中には秋の果実の野イチゴやブルーベリーが沢山。ただし、これらを食べる場合は高い所にある物をお召し上がり下さい。このキツネは例の病原虫を持つとやら、あしからず。



(ボビーヌ小屋手前 9/3 日)



(トリアン村 9/3 日)



○トリアン～シャモニ

今日は一周し再びモンブランとシャモニの街に会える日。トリアン村を出発し一路スイス・フランス国境のバルムのコルを目指し高度を上げます。稜線手前からモンブランが見えた時の感動は旅を締め括るにふさわしい景色で、皆様の脳裏に焼き付いた事と思います。



次の天溪ツアーは所をオーストリア・イタリアに移し「チロルとドロミテハイキング 10 日間」をお伝えします。